

評価委員会議事録

教誨師中央研修会

- 1 日 時 平成27年9月8日(火) 15時から16時45分まで
- 2 場 所 法務省1階小会議室
- 3 出席者

全国教誨師連盟

近藤 哲城 理事長

舎奈田 経夫 副理事長

事務局

龍田 経夫 事務長

佐藤 均 主事

法務省矯正局成人矯正課

滝山 直樹 事務官

4 議事内容

(1) 研修テーマについて

- ・ 研修テーマについては、全体的に良好な評価を受けており、一応の成果が得られた。
- ・ 研修に際し、もう少し詳しく研修員に通知を行って、周知を図るべきであった。

(2) 研修内容について

- ・ 研修実施前に研修員に対して、研修内容をしっかり伝えるようにすべきであった。
- ・ 研修内容はよかったが、伝達方法に工夫が不足していた。
- ・ 研修2日目開始時に、確認の意味で研修員に趣旨説明を行えば、研修の意図を理解してもらえた。

(3) 研修の成果について

- ・ 全体的には研修の成果はあった。ただし、公益財団法人として今後どのような方向へ向かうべきかをしっかり認識してもらうレベルまでには達していなかったように思われる。
- ・ 班別討議については、各研修員が個々の意見を述べることができ、良好な反応がうかがわれた。

(4) 実施体制について

- ・ 研修員に対する実行委員の説明がやや不足していた点があったが、教宗団混合の実行委員体制なので仕方のないところもあり、今後の課題とする。
- ・ 細かな点について十分に打合せを行い充実したより充実した研修になるように工夫を行うようにする。
- ・ 班別討議(11班編成)で討議を行った結果、活発な意見が出たり、研修

員同士で情報交換が積極的に行われ効果があった。

(5) 評価全般

今回の中央研修会は、全国各都道府県の教誨師会長及び副会長等を対象として、公益財団法人の一員としての役割と責任を自覚して、公益性を高めるとともに、全国教誨師連盟の進むべき方向性と、教誨師としてあるべき未来像を展望し、組織の発展・充実を図ることを目的として、全国各地から91名を招へいして、3日間の研修を行った。

研修に参加した研修員全員に、研修の成果を上げてもらうことを目的として研修を計画および実行を行っている。しかし、十分に理解していただき、研修効果を上げることはとても難しいことであることを改めて認識した。

今回の研修実施後、研修員から回答していただいたアンケートによる、貴重な意見や提言を、今後、研修を企画・実行する際に活かして行く必要がある。

研修会では、班別討議及び全体会で研修員が各自の意見を述べ合う場があり、多くの研修員が他の研修員との情報交換ができたことが良かった。他の地域での教誨師の取組み等を知ることができて大きな収穫があった等の良好な反応を得ることができた。

